

# WEB会報



## 子育て世代が増える郡山市に変えていこう



郡山社民フォーラムは9月25日、第4回全員会議を開催し、第26回参議院選挙闘争総括、第20回統一自治体選挙闘争について議論しました。

来夏の市議選をにらみ、今後の重点課題についての議論では、「駐車場有料化反対」など、暮らしを守る取り組みに加え、先進自治体に学び、Uターンも含め「子育て世代」が増えるような政策を打ち出すべきではないか、などの意見が出されました。

### 参院選における得票数

選挙区では、6年前の野党統一候補者が獲得した46万票を目標としましたが、結果は32万票にとどまり、自民党候補者には10万票の差をつけられました。

比例区における立憲民主党の得票率は13.9%と前回より若干増えましたが、昨年の衆議院選挙の25.7%を大きく下回りました。

### 選挙結果の分析評価

アベノミクスや岸田政権の経済政策への批判票を立憲民主党へ十分に取り込むことが出来なかった一方、日本維新の会や参政党は躍進しました。

コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻にともなう物価高騰など勤労国民の「窮乏」が強まる中で、賃上げ、消費税減税、物価対策など、与野党とも異口同音の政策の訴えとなり、権力と実績、実現力をもつ自民党に指示が流れてしまいました。

### 郡山市政の重点課題

事務局が示した「たたき台」は次のとおり。

岸田政権の推し進める「小さな政府」に追従するだけの市政をあらため、中核市としての財政力を活かした「市民生活が第一」の政策を推

進めます。

市の公共施設の駐車場有料化など、市民の経済的負担を増やすあらゆる施策に反対し、市民の暮らしを守ります。

中心市街地と周辺地区の格差をなくすため、乗合タクシーの利便性向上に取り組み、運転免許を返上する高齢者への支援を拡充させていきます。

こどもたちの豊かな学びを支えていくために、教職員の働き方改革を後押しするとともに、「司書」や「支援員」の賃金・労働条件の向上をはかります。

賃金の底上げのため、現行の「公契約条例」のバージョンアップを目指します。

### 参加者の声

9月議会を傍聴したが、運転免許を返上した高齢者への支援について、周辺自治体の充実ぶりを数字で示しながらの追及に、市長の答弁は全くなっていない。市政だよりに明記して拡散したらいいと思う。

子育てしやすい郡山をめざし、市議団として先進地調査を重ねてきたと思う。それを活かした政策を公約に掲げてはどうか。

※ホームページは <http://koh-sdf-fsm.jp/>